



写真：宮城県観光課提供


計量みやぎ

編集発行
 仙台市太白区長町7-22-23
 宮城県計量検定所内
 (社)宮城県計量協会
 TEL 246-2466・FAX 247-1490
www.keiryo.net/



運営強化事業の継続を軸として

第五十二回 通常総会開催

平成二十一年度通常総会は、六月四日(木)仙台市青葉区「仙台国際ホテル」において、来賓に宮城県知事(代理・経済商工観光部産業立地推進課 山崎課長補佐)、仙台市長(代理・経済局産業政策部経済企画課 小林課長)、石川宮城県議会議員、渡辺仙台市元議会議員、森屋宮城県計量検定所副参事兼次長、鍋島顧問のご臨席をいただき開催された。

総会は、定刻十五時に伊達副会長が開会を宣し、鍋島会長の挨拶に続いて表彰式に移った。山崎経済商工観光部産業立地推進課長補佐より知事褒状、鍋島会長より会長表彰三名、褒賞六名にそれぞれ表彰状と記念品が贈られ、受賞者を代表して堀江完寿氏が謝辞を述べ表彰式を終了した。続いて、来賓の方々より祝辞をいただいた後、定款第二十四条に基づき、鍋島

会長が議長に就任し、議事の審議に入った。第一号議案から第四号議案について、武田専務理事と齋藤事務局次長がそれぞれ事業報告・財務諸表の説明を行い満場一致で可決された。また、今年役員改選の年でもあった為新役員が選出され、会長・理事は殆ど留任となった。最後に事務局より報告事項があり、千葉副会長の閉会挨拶により十七時終了した。

計量功労受賞者

宮城県知事褒状

堀江 完寿氏

(株)仙台測器社

(社)宮城県計量協会会長表彰

加藤 利章氏

(日東イシダ株)

木南 勉氏

(日本エンヂニヤール・サービス株)

熊谷 拓也氏

(トキコテクノ株)

(社)宮城県計量協会会長褒賞

嶋貫 利徳氏

(北日本環境整備株)

北 彰久氏

(東北緑化環境保全株)

佐藤 雅春氏

(日東イシダ株)

金澤 利光氏

(日東イシダ株)

乙坂 寛治氏

(日本エンヂニヤール・サービス株)

須藤 隆宏氏

(トキコテクノ株)



決議議案

《第一号議案》

平成二十年度事業報告について
平成二十年度の会員の状況、理事会及び諸会議の内容、公益事業として、計量記念日の開催・工業品材料依頼試験受託、仙台市指定定期検査機関業務、流通事業者の指導、機関誌「計量みやぎ」の発行、収益事業として、特定計量器の代検査事業、日本郵政グループ計量管理受託業務、材料試験機の検査、質量に係る計量証明事業、計量管理受託事業、県収入証紙取扱事業、各部会合同研修会等について説明し、満場一致承認された。

《第二号議案》

平成二十年度財務諸表の承認について
一般会計
四、九八一、一三二円
受託金特別会計
二五、九三八、九五四円
指定定期検査機関
二八、五三二、四七五円
収益事業特別会計
三五、三二四、三〇八円

なお収益事業特別会計においては、九六五、五七七円の当期利益が生じ、この金額は次年度、一般会計へ繰入れるという決算報告がなされ、満場一致で承認された。

《第三号議案》

平成二十一年度事業計画書(案)の審議について
平成二十一年度事業計画書の審議については、別掲の事業計画を原案とお可決された。

《第四号議案》

平成二十一年度収支予算書(案)の審議について
一般会計
四、三五〇、〇〇〇円
受託金特別会計
二五、一〇〇、〇〇〇円

《第五号議案》

理事及び監事の改選について
役員選考において、会長、副会長、専務理事、常務理事、常任理事は留任となった。
新たに常任理事に笠原秀氏が選出された。
退任する理事に星敏男氏、大庭雅樹氏、竹田甫男氏、二階堂亮一郎氏の四名。
新たに就任する理事に水越隆夫氏、斉藤孝司氏、甲斐健一氏の三名。
監事の退任は甲斐健一氏で新たに就任する監事に二階堂亮一郎氏が承認された。

《報告事項》

(1) 顧問の推薦について
当協会の顧問であった宮城県計量検定所長 太田廣氏が三月三十一日付けをもって退職され顧問を退任することになった。後任に佐藤政孝所長が着任されたので、同氏を四月一日付で顧問に推薦したい。
(2) 計量功労者表彰について
宮城県知事褒状、東北六県北海道計量協会連合会会長表彰、会長表彰・褒賞について報告された。
(3) 東北・北海道計量大会日程についての報告があり、今年度は(社)山形県計量協会の当番で十月八日(木)～九日(金)に予定されているとの報告があった。



平成二十一年度事業計画

平成二十一年度事業計画として、平成二十年度に引き続き運営強化事業を軸とした展開を堅実に運営しなければなりません。

仙台市から「指定定期検査機関」として指定を受け今年で八年目にあたり、特定計量器の定期検査及び立入検査補助の委託を受け、計量の安全確保、消費者擁護に努めてきたこれまでの実績を踏まえ、更なる実施体制の強化を図るとともに、平成十六年度に全国一斉に受託した日本郵政グループの適正計量管理事業についても効率的な業務体制を図り、継続事業として着実に推進する。更に、協会の基盤をなす県からの代検査事業・工業材料依頼試験等事業についても継続事業として推進する。



主な事業の基本方針

- 一、運営強化事業
 - ・取引・証明用計量器の代検査事業（五市四郡対象）
 - ・仙台市指定定期検査機関の行う定期検査（青葉区・太白区）
 - ・工業品材料依頼試験等事業
 - ・計量士部会が行う材料試験機検査事業の拡大
 - ・仙台市管内立入検査補助業務
 - ・日本郵政グループの受託事業
 - ・適正計量管理事業所受託事業
 - ・質量に係る計量証明事業
 - ・計量記念日事業による計量思想の普及啓発
- 二、公益事業
 - ・みやぎ計量のひろばの開催
 - ・「計量みやぎ」発刊による広報活動の強化
 - ・工業品材料依頼試験等業務
 - ・仙台市指定定期検査機関の受託事業
 - ・仙台市管内商品量目・特定計量器立入検査補助業務
- 三、収益事業
 - ・取引証明用「大型・小型ばかり」の代検査業務
 - ・質量に係る計量証明事業
 - ・計量管理受託事業
 - ・日本郵政グループの計量管理受託事業
 - ・材料試験機の検査事業
 - ・宮城県証紙販売事業の拡充
- 四、部会活動対策事業
 - ・工業・環境・流通・計量士・計量器コンサルタント各部会の研修、講習会等の展開

- ・優良事業場及び永年勤続従業員の表彰
- ・先端産業事業場の視察
- ・県内計量器販売者の研修・育成
- 五、行政並びに関係機関諸会議
 - ・東北・北海道計量協会長会議及び東北・北海道計量大会第五十八次連合総会
 - ・期日 平成二十一年十月八日（木）
 - ・場所 山形県十日町四一―二七（ホテルキャスル）
 - ・（社）日本計量振興協会第十回 通常総会
 - ・期日 平成二十一年五月二十五日（月）
 - ・場所 グランドヒル市ヶ谷東京都内
 - ・東北・北海道事務局長会議
 - ・期日 平成二十一年十一月―十二月
 - ・場所 山形県管内
 - ・第三十一回計量士等東北地区協議会
 - ・期日 平成二十一年十一月―十二月
 - ・場所 岩手県管内
 - ・行政機関及び各種団体の主催する行事等の参加



審議風景

新役員

会長	鍋島孝敏	(日 東 イ シ ダ 株)
副会長	千葉信宏	(北 日 本 環 境 整 備 株)
同	伊達啓公	(株 藤 崎)
専務理事	武田 巖	(社) 宮 城 県 計 量 協 会
常務理事	吉田俊文	(社) 宮 城 県 計 量 協 会
常任理事	菅原 功	(計 量 士)
同	加藤啓二	(仙 台 環 境 科 学 株)
同	和田 岑生	(株 旭 商 会 仙 台 店)
同	斉藤孝司	(日 本 エ ン ジ ニ ヤー サー ビ ス 株 東 北 支 店)
同	加藤清隆	(仙 台 ヤ マ ト ハ カ リ 株)
同	笠原 秀	(計 量 士)
理事	平野節夫	(計 量 士)
同	三浦 誠	(ト キ コ テ ク ノ 株 東 北 支 店)
同	松本康成	(株 金 門 製 作 所 東 北 支 店)
同	河野敏彦	(み や き 生 活 協 同 組 合)
同	佐藤武志	(株 寺 岡 シ ス テ ム)
同	水越隆夫	(テ ッ ク エ ン ジ ニ ヤー 株 東 北 支 店)
同	高橋 栄一	(株 仙 台 測 器 社)
同	嶺 岸 優	(東 北 公 害 保 安 株)
同	松 尾 靖	(東 北 緑 化 環 境 保 全 株)
同	橋本裕之	(愛 知 時 計 電 機 株 仙 台 工 場)
同	熱海周一	(財) 宮 城 県 公 衆 衛 生 協 会
同	浅野幸雄	(エ ヌ エ ス 環 境 株 東 北 支 社)
同	金子正春	(大 阪 シー リ ン グ 印 刷 株)
同	甲斐健一	(財) 食 品 環 境 検 査 協 会
同	大湯 澄	(大 湯 湯 商 店)
同	鈴木昇二郎	(東 陽 エ ン ジ ニ ア 株)
同	二階堂亮一郎	(計 量 士)

(敬称略)

新任の挨拶



宮城県計量検定所長
佐藤 政孝

計量行政については全く経験がないままに就任しましたので、六月に産業技術総合研究所で初任所長の研修を受けてきました。

この研修で、日本の研究開発の裾野の広さと使命感を持つて研究に邁進している数多くの研究者の努力によって産業技術の基盤が支えられていることが良く分かりました。また計測評価技術は科学・産業活動の基盤であり、計量標準の設定・供給は先端技術産業の支援のみならず、国民生活の安全・安心を支える基礎であります。

当検定所の役割は、特定計量器や基準器の検査等を行い、適正な計量の実施を確保するとともに消費者保護を図ることにあります。このいは、貴協会が行っている事業目的とも重なり、両者が密接に連携して事業を実施することにより、はじめて本県の適正な計量の実施が確保されていると信じてあります。

本県の適正な計量の維持・確保に当たっては貴協会の協力と連携が不可欠であります。

今後とも、貴協会と車の両輪の如く密接に連携を深め、本県の計量行政を推進して参りますので、引き続きご協力下さいますようお願い申し上げます。



平成二十年度 計量器コンサルタント資格認定講習会

平成二十年一月二十三日に仙台卸商センター卸町会館で計量器コンサルタント資格認定講習会が開催されました。

計量器コンサルタント制度は、計量器の販売者とその専門性を高め、計量器のユーザーのニーズに対応する適切なコンサルティングと情報提供ができるよう育成し、かつ、計量器の安心、安全を供給する目的で一九七二年に発足しました。

受講資格は、社団法人日本計量振興協会または地区計量協会の会員企業に所属している人で、原則として一年以上従事し、または同等の経歴を有するとして事業主が推薦し

た人に受講の資格があり、今回は東北地区の各企業から計量従事者四十八名が熱心に受講された。プログラムは左記のとおりであった。

- 一. 開講にあたって
- 二. 計量法の基礎
- 三. 計量管理の概要
- 四. 計量器の知識
- 五. 測定の特レーサビリティ
- 六. 修了式

本講習会を修了された受講者に「修了証」を発行されるとともに、後ほど社団法人日本計量振興協会の「資格証明書」が発行される。

第三十回東北六県計量士会 (計量協会計量士部会)

第三十回東北六県計量士会(計量協会計量士部会)は、青森県当番により、十二月十日(月)ホテルアラス力において、出席者二十一名により開催された。

秀記氏の議長により協議会が開催された。

各県より提案された議題は次のとおりです。

- 議題一 日本郵政グループの講習会について(福島県)
- 議題二 日本郵政グループ計量管理受託業務について(宮城県)
- 議題三 計量トレーサビリティについての情報交換(山形県)
- 議題四 次期開催地について(青森県)

これらの議題について各県より、意見交換がなされた。特に議題一および二については村松常務理事より現時点ではまだ未確



定であり、これから郵政グループとの話し合いで具体的な内容が検討されるとの話が出され、今後各県より意見を寄せて欲しいという旨の説明があった。また、議題3については各県より意見が出され、検査内容(法定検査・校正)によって対応すべきとの意見が出された。

次回当番県を岩手県とすることで満場一致のもと、閉会した。

一般公開 みんな集まれ「技術のおもちゃ箱」



センター内に設置されている当計量協会においても「びっくり体験！鉄筋破断」と銘打った建築・土木材料の鉄筋を引っ張り試験機により数トンの力で引きちぎる実験を行いました。初日の三日は、近隣小学校(三校)の児童約二百五人を招待して見学してもらいました。おそらく見学者全員

宮城県産業技術総合センターでは、去る七月三日(金)、四日(土)の両日、今年も恒例になりました一般公開が行われました。この一般公開は、県民、特に青少年を対象として、技術とふれあう場を提供し、来場者に産業技術を身近に感じてもらうとともに、当センターの事業内容を広く県民に紹介してご理解をいただくため開催されているものです。「工業製品から食品まで」に及ぶセンターの設備・機器を使用した「ものづくり」の楽しさに触れながら、様々な成果物の展示と体験教室、及び県内4地域から協力をいただいた竜紋塗り(鳴子)、竹細工(岩出山)、木材加工(津山)、硯石加工(雄勝)の体験教室がありました。



が初体験ではないかと思われるかもしれませんが、鉄筋破断の瞬間を今か今かと目をまばたかせながら息をのみ、担当者から「間もなく切れますよ」と話された直後に、「ドスン……パチン……」という地響きと共に大きな破裂音がしました。両手で耳をふさいでいた子供達もこれには堪らず、「ワー……、キヤー……」と叫声を上げながら逃げ回っていました。

二日目は、仙台・宮城ブラスティネーションキャンパーンのキャラクターである「むすび丸」も体験していましたが、びっくりした表情?になっていました。「体験教室のコーナーでは、顕微鏡観察、ベゴマやアクセサリーを題材にした铸物技術体験、米粉のお菓子作りフレッシユチーヅ作り等、に挑戦していました。また、工業技術センター時代からの歴史コーナー・パネルの展示コーナー、事業紹介コーナー、宮城県グリーン製品展示コーナー、企業紹介コーナー、くらしに活かす知恵・技術セミナー等が行われました。一日間で七二六名の見学者の方々が訪れ、好評のうちに終了しました。

会社紹介

仙台ヤマトハカリ株式会社

当社は、1977年5月に大和製衡株式会社の東北地区に於ける関連会社として設立され、同社の製品の販売と、修理、保守サービス業務さらには、二次販売店様等へのサービスを主に行ってまいりました。

近年、あらゆる業種のお客様より作業の効率化とコストの削減への提案要望が多く求められ、当社の積み重ねて参りました経験と知識を生かしお客様の抱える課題に迅速かつ、トータル的な視点での提案を基に宮城県はもとより、東北六県をカバーするまでに至っております。

常に私たちはお客様より教えを頂きながら成長していくという姿勢を堅持しながら創意と工夫をモットーに事業活動を行っており、今後ともお客様とのコミュニケーションを大事にし、より良い計量環境を作り上げる為に尽力してまいります。



会社概要

商号	仙台ヤマトハカリ株式会社
代表者	加藤清隆
本社所	仙台市宮城野区日の出町二丁目4-12 TEL 022-234-2225(代) FAX 022-236-6592
営業所	宮城県塩釜市新浜町一丁目18-6 TEL 022-365-2151 FAX 022-365-2153
設立	1977年5月
資本金	1000万円
営業品目	質量計及び関連機器の販売及び、製造・修理業務 計量器販売事業登録 (宮城県知事 第1383号)
業務登録認可	計量器修理事業登録 (宮城県知事 第79号) 計量器製造認可 (通産大臣 第271号)
建設業認可	械器具設置工事業 (宮城県知事認可<般-18>第016354号)
関係会社	大和製衡株式会社 加藤機衡有限公司

平成二十年度 計量協会各部会 合同研修会開催

- 一、開催日時
平成二十一年二月二十日(金)
十四時～十六時三十分
- 二、場所
仙台市若林区卸町二丁目十五番二号「卸町会館」
- 三、研修内容
計量法の動向
- 四、計量法関係法令の改正等の状況

- (2) 一般計量証明における不適切な計量証明の発行
- (3) 環境計量証明事業における不適切事例
- (4) 商品量目等について
- (5) その他 質疑応答

宮城県計量検定所技術次長 古川隆氏を講師に各事業所から七十九名の参加者で会場を埋め尽くされた。

【研修概要】
計量法関係法令の改正等の状況
特定計量器の検定検査規則
については、技術基準等の国際整

平成21年度 東北・北海道計量大会

- 【期 日】 平成21年10月8日(木)～9日(金)
- 【場 所】 山形市十日町4-2-7
「ホテルキャッスル」
- 【視察研修】 「天地人」の主役武将直江兼続公
ゆかりの地、米沢市の視察研修
- 【参加費用】 24,000円(研修含む)

平成21年度 優良事業所視察

- 【期 日】 平成21年9月2日(水)～3日(木)
- 【視察研修】 ㈱ミットヨ宇都宮事業所
精密測定機器製造・販売
富士通㈱那須工場
携帯端末機器製造
- 【宿 泊】 塩原温泉
- 【参加費用】 16,000円



合性を図る観点から、国際規格を踏まえて策定された技術基準等を引用して行くことにしており、JISが制定されたものから順次、検則を改正している。平成十七年三月にはタクシーメーター、水道メーターなどの七機種について器差検定の方法を除いた技術基準を引用する検則の改正を行い、更に平成二十年二月には水道メーター及び温水メーターについて、器差検定の方法もJISによることとする検則の改正を行っているとの内容であった。また、他の項目についても、詳細な説明がなされた。

当計量協会では今後も、このような研修会を開催する予定であります。

「09みやぎ計量のひろば」開催

- 【期 日】 平成21年10月31日(土)11時～14時
- 【場 所】 (株)西友 ザ・モール仙台長町
2階「いこいの広場」

イベント内容

- 生活に関わる計量器展示コーナー
- 重さ当てコーナー
- 健康測定コーナー
- 計量クイズコーナー
- 111グラム・はかってみよう
- 計量記念日書道展示
- 「棒ばかり」工作コーナー

計量検定所人事異動のお知らせ

- (退職者)三月三十一日付
所長 太田 廣
- (転入者)四月一日付
所長 佐藤 政孝
(石巻高等技術専門校)
- 次長(庶務担当) 高橋 雄一郎
(動物愛護センター)
- 次長 笠原 博
(塩釜県税事務所)
- 主任主査 吉田 進一
(土木部河川課)
- 主事(事務補主任) 菊地 宏
(視覚障害者情報センター)
- (昇格者)四月一日付
主任主査 池田 裕之(技術主査)
- (転出者)四月一日付
次長(庶務担当) 加藤 仁
(防災ヘリコプター管理事務所)
- 主任主査 堀江 博一
(大崎広域水道事務所)

お気に入り 紹介 加護坊パークゴルフ場



数年前に北海道旅行をした際、北海道出身の友人から「パークゴルフ」に誘われ、初体験しました。それ以降、パークゴルフの手軽さと自然の中で遊ぶ楽しさにはまっています。宮城でもパークゴルフをしようと思いましたが、大崎市田尻町にある「加護坊パークゴルフ場」が一番のお気に入りとなりました。

パークゴルフとは北海道発祥のスポーツです。1本の専用クラブでプラスチックボールを打ち、カップに入れる単純明快さと老若男女で楽しめるのが特徴です。

加護坊山の南斜面に広がるこのパークゴルフ場は国際パークゴルフのコースに認定されていて、県内最大、全国でも屈指の人気コース(9ホール×6コース計54ホール)です。コースの中には高台から下のカップ目にかけて打ち下ろすホールもあり、気分爽快です。

また受付場所は四季彩館というレストラン内にあり、汗を流した後は田尻産の豚肉を使ったメニュー等が楽しめます。また展望風呂もあり、パークゴルフの疲れや汗も流すことができます。近くにキャンプ場もありますので、これからの季節、ご家族やお友達と楽しませたいかがでしょうか。

所在地
宮城県大崎市田尻大字加護峰山一七八ー一
電話 0229-13910404
(村山)

編集後記

グローバルな経済不況、金融危機に加えて、新型インフルエンザの世界的流行の中、本会は第52回通常総会が無事終了致しました。

このようなか、政権選択が焦点となる衆院選が8月18日公示ー30日投票開票が決定されました。

平成5年8月の自民党宮沢内閣崩壊時に、民主党の小沢一郎氏、鳩山由紀夫氏らが自民党を離党して細川非自民連立政権を誕生させたことを思い出しました。

今の世の中、自己の権利を主張するあまり他者の権利を無視したり、義務を果たさずに権利のみを主張する傾向が強くなっています。戦後のはき違えた民主主義がそのまま今回の衆院解散に表われている気がします。

NHK大河ドラマ『天地人』が若い人達に人気があるのは、『正義』に憧れを抱いているからなのかもしれません。

『論語』の教えに「義を見てなさはるは勇なまなり」とあります。あらためて考えてみると、なかなか実行できないものなので、教えになつているのでしょ

編集委員長 加藤